

香港・深圳視察報告



2020年2月7日

マーケティング・ラボ部会 土屋 樹一

1 香港の展開事例

■ 香港空港



- 広告・各種情報提供にLEDビジョンを多用
- 広告媒体はJCDecauxが多くを管理



1 香港の展開事例

■ 香港MTR【駅媒体】

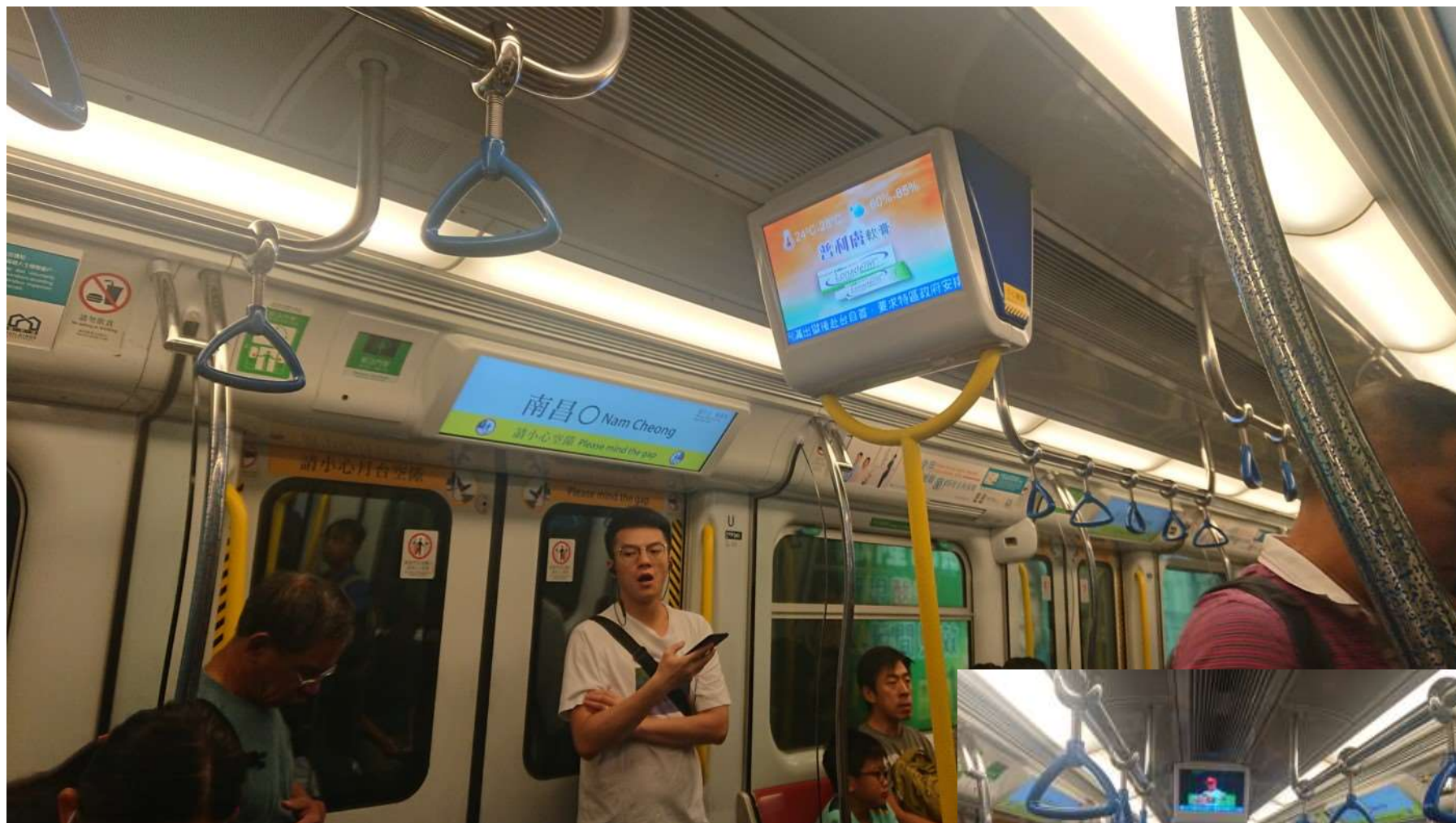


- 台湾やヨーロッパでよく見られる大型SP+ビジョンの組み合わせパターンあり
- ホームドア内のLEDビジョンや、縦型サイネージの2面使い等、独特な媒体が多い



1 香港の展開事例

■ 香港MTR【車内媒体・新型車両】



- ドア上サインージと通路上サインージを設置。ドア上は列車の運行案内、通路上は各種情報提供や広告に活用
- 通路上サインージでDDOOH的な情報を提供？



1 香港の展開事例

■ 香港MTR【車内媒体・旧型車両】



- 側面まど上にサイネージを設置。各種情報提供や広告に活用



2 深圳の展開事例

■ 中国高鉄 深圳北駅



- 巨大なLEDビジョンを多数設置
- 発車案内や空席表示という列車利用に必要な情報と広告を一体で表示し、媒体価値を向上

2 深圳の展開事例

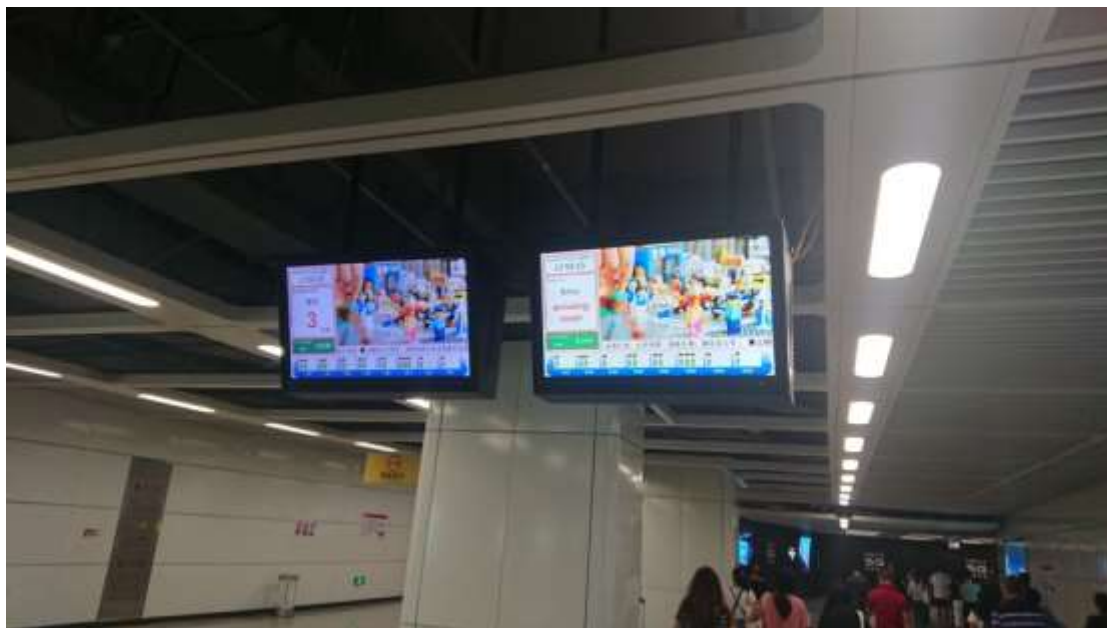
■ 深圳地下鉄 深圳北駅



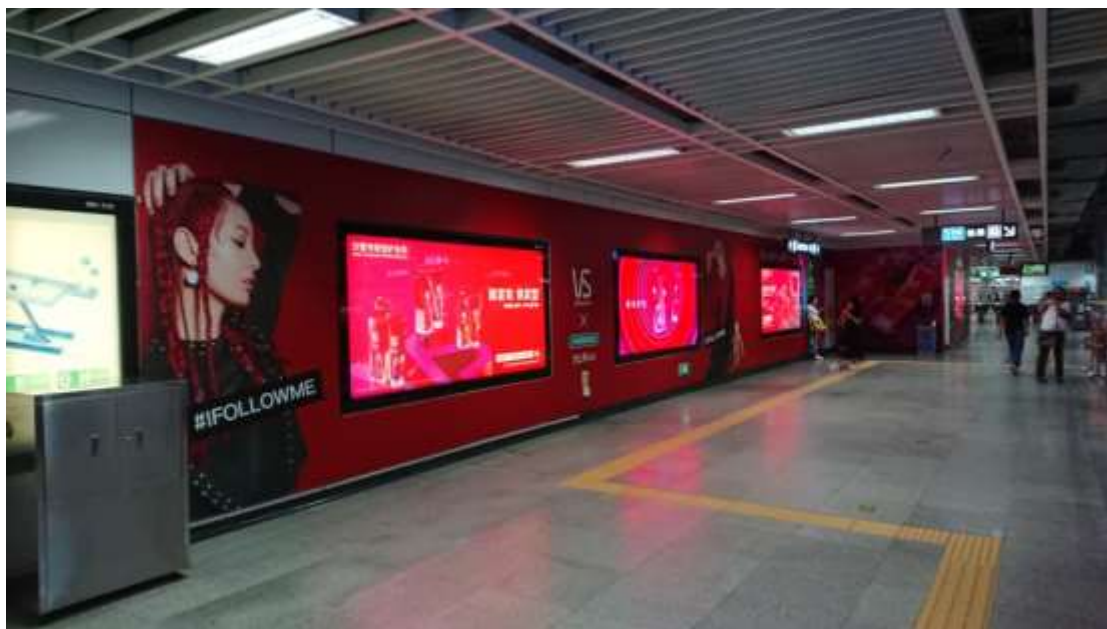
- 地下鉄と高鐵（新幹線）の乗換改札前に設置
- 円柱型の同期型LEDビジョンは珍しい

2 深圳の展開事例

■ 深圳地下鉄【駅媒体】



- 駅ホーム上に設置のサイネージ。一部路線では各種情報提供だけでなく、車両別の混雑状況を表示するシステムを導入。



- SP+ビジョンを組み合わせた広告が多いが、香港よりはスケールが小さいイメージ。

2 深圳の展開事例

■ 深圳地下鉄【車内媒体】



- 画面サイズ、設置箇所等車両によってバラバラの状況。広告を募集しているのか不明ではあるが、地下鉄案内や公安からのお知らせのみを繰り返し放映している状況。

2 深圳の展開事例

■ 深圳市内



- 巨大なLEDビジョンが多数存在
- バス車内にもサイネージが設置され、市内のあらゆるロケーションでデジタルを活用した情報提供が定着

2 深圳の展開事例

■ 市中のデジタルサイネージ



SCの使われているタッチパネル式デジタルサイネージ



バス後部のサイネージ広告

2 深圳の展開事例

■ 深圳のLEDショー



- 市庁を中心とする高層ビルの壁面にLEDを設置し、週末を中心にLEDショーを開催

2 深圳の展開事例

■ 香港新幹線



- 正式名称は広深港高速鉄道。2018年9月23日に深圳～香港（西九龍駅）間が開通。
- 日本の新幹線とは異なり、車内額面広告の位置にビジョンを設置。



1. 香港、深圳とも駅媒体については大型化したSP+ビジョンでの展開が多い。また深圳北駅については高鉄、地下鉄とも巨大かつ特徴的なLEDビジョンを活用した情報提供が行われている。
2. 地下鉄の車内媒体については、香港はビジョンの設置位置により役割を明確にし効果的な情報提供が行われているのに対し、深圳については無秩序で情報提供効果を十分に発揮していない。
3. 深圳のLED媒体はとにかく大きい、目につくというのが最大の特徴。LEDショー以外はクリエイティブに工夫を凝らした媒体は少ないが、新幹線の発車標の横や空席表示の近くで広告放映をする等、広告が自然に目に入る配慮はなされている。

今後大型LED媒体の設置や、大型クリエイティブ意匠の展開が本格的に進むと思われる日本にとって参考になる事例が多かった